

鳥取県 森林・林業・木材産業再生プラン

< 骨子 >

平成22年11月

1 はじめに

(1) 策定の趣旨

- ・「森林・林業再生プラン（平成21年12月25日林野庁）」や関係者の意見等を踏まえつつ、本県の林業・木材産業が成長産業として飛躍することを目指して、県民や森林・林業・木材産業関係者、行政機関が連携して取り組むべき課題やそれぞれに期待される役割を明らかにするための指針として作成。

(2) 再生プランの期間

- ・今後概ね5年間の間に取り組むべき課題や目指す姿を整理。

2 鳥取県の森林・林業・木材産業を取り巻く状況

- ・以下の各項目ごとに現状と課題を整理。

(1) 森林・林業を取り巻く状況

(2) 林業の担い手・林業事業体等を取り巻く状況

(3) 木材産業を取り巻く状況

(4) その他森林と県民を取り巻く状況

3 鳥取県の森林・林業・木材産業の目指す方向

- ・上記の現状と課題をふまえ、
 - 森林の適切な整備・保全を通じた森林の有する多面的機能の持続的発揮
 - 林業・木材産業の再生と雇用への貢献による中山間地域の活性化
 - 県産材・木質バイオマス利用拡大による森林資源の有効活用を理念とし、森林・林業・木材産業の再生と成長産業への飛躍を図るため、以下の取組みを推進。

目指す方向 「低コスト林業」で持続的な林業経営

木材生産の低コスト化

- ・計画的・加速的に作業道を整備しつつ、利用間伐の推進による収益を確保し、森林所有者に利益を還元する低コストな木材生産を進める。

経営の集約化

- ・林業の高コスト構造を見直し、スケールメリットを活かした林業経営を進めるため、森林組合等林業事業体への経営の集約化を図る。

目指す方向 ^{もり}森林を支える人づくり

^{もり}森林を支える人材の育成・確保

- ・森林づくりを支える担い手を育成・確保する。

林業事業体の育成・強化

- ・低コスト林業を進める中核的存在となる林業事業体の育成と強化を図る。

目指す方向 県産材の流通・利用拡大

県産材の安定供給

- ・県産材の安定取引、流通コスト削減のため、原木市場の役割にも配慮しつつ、LVL・合板等高次加工工場等への直送体制の導入を推進する。

消費者が求める品質・性能の確かな製品の供給・流通

- ・需要やニーズに合った製品の生産・供給体制づくり（マーケット・イン方式）を進める。

県産材・木質バイオマスの利用

- ・県民が一丸となって、「とっとりの木づかい」を進める。

目指す方向 県民と共に進める森林づくり

県民参加の森林づくり

- ・県民参加の森林づくりを通じて、森林の大切さや守り育てる意義を広く発信する。

新たな仕組み（カーボン・オフセット）を活用した森林づくり

- ・「カーボン・オフセット」を活用し、県内林業の活性化と森林の整備・保全の一層の推進を図る。

森林とともに生きる営み・暮らし

- ・放置された里山林等の広葉樹林の整備に加え、優れた品質の「鳥取原木しいたけ」のさらなる品質向上と増産のための取組みを進める。

4 森林・林業・木材産業の再生に向けた戦略プロジェクト

- ・プランに基づいた先進的な取組みを実施し、その効果を全県に波及させるため、以下の3プロジェクトを展開

低コスト林業実践プロジェクト

- ・県・市町村・森林組合・素材生産業者・建設業者等の連携のもと、50ha規模でのモデル団地を設定。
- ・高密度な路網整備と高性能林業機械の導入により、安定的かつ低コストな素材生産システムを確立。

とっとり県産材流通改革・利用拡大プロジェクト

- ・原木の安定取引や流通コスト削減のため、効率的な仕分けを行う中間土場を設置し、県内外の大口需要先への大量一括輸送を推進。
- ・公共建築物の木造化等による県産材の積極的利用を進めるとともに、その効果を民間にも波及。

県民と共に進める森づくりプロジェクト

- ・平成25年開催予定の全国植樹祭を契機として、県民・企業参加型の森林づくりを進めることにより、全ての県民に多様な恩恵を与えている森林の大切さや守り育てる意義を広く発信。